

令和6年度鳥取県立高等学校入学者選抜  
学力検査結果（得点状況等）

鳥取県教育委員会

令和6年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査における得点状況

1 教科別得点の平均点及び総得点の平均点(全日制課程)

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和6年度	31.5	23.9	23.8	27.0	25.4	131.5

令和6年度入学者選抜学力検査5教科受検者数 2, 559人  
各教科50点満点、合計250点

(参考) 過去13年間

年 度	国語	社会	数学	理科	英語	総得点
令和5年度	30.9	31.8	26.9	26.0	28.2	143.8
令和4年度	31.8	24.7	26.7	28.2	25.8	137.1
令和3年度	29.0	35.3	24.4	27.0	28.7	144.4
令和2年度	27.7	28.5	25.7	27.0	28.4	137.3
平成31年度	26.9	30.1	27.3	31.3	24.6	140.3
平成30年度	29.9	30.4	24.6	28.6	27.7	141.2
平成29年度	28.3	27.6	27.4	31.4	29.1	143.8
平成28年度	27.9	27.4	25.2	30.6	30.3	141.3
平成27年度	29.6	33.4	26.4	27.2	28.9	145.5
平成26年度	25.6	24.9	28.5	26.7	30.7	136.3
平成25年度	23.5	27.1	27.5	25.2	27.1	130.5
平成24年度	25.3	30.0	22.8	29.2	26.6	133.9
平成23年度	24.9	29.1	23.2	29.1	26.8	133.1
平成22年度	29.1	30.2	26.5	25.4	22.2	133.3

## 2 各教科及び総得点における得点分布(全日制課程)

【各教科における度数分布】

(人)

得点	教科	国語	社会	数学	理科	英語	
0	～	2	0	4	22	1	5
3	～	4	1	13	37	6	26
5	～	6	4	27	51	7	67
7	～	8	8	84	57	28	113
9	～	10	23	93	89	62	128
11	～	12	17	120	89	93	161
13	～	14	31	127	125	121	114
15	～	16	44	159	132	132	124
17	～	18	79	169	174	142	142
19	～	20	92	178	177	125	121
21	～	22	88	188	174	148	106
23	～	24	125	175	203	161	116
25	～	26	166	180	202	153	139
27	～	28	209	183	197	179	117
29	～	30	180	161	174	169	115
31	～	32	209	166	152	195	113
33	～	34	203	144	130	168	119
35	～	36	262	131	110	193	148
37	～	38	253	93	93	171	127
39	～	40	215	81	61	134	117
41	～	42	178	39	53	76	116
43	～	44	119	25	33	43	98
45	～	46	45	13	15	37	60
47	～	48	8	5	8	12	42
49	～	50	0	1	1	2	24
受検者数		2,559	2,559	2,559	2,558	2,558	

【総得点における度数分布】

総得点	人数		
0	～	5	0
6	～	10	0
11	～	15	0
16	～	20	0
21	～	25	3
26	～	30	6
31	～	35	9
36	～	40	13
41	～	45	13
46	～	50	25
51	～	55	39
56	～	60	39
61	～	65	51
66	～	70	61
71	～	75	74
76	～	80	76
81	～	85	65
86	～	90	90
91	～	95	75
96	～	100	73
101	～	105	71
106	～	110	90
111	～	115	90
116	～	120	93
121	～	125	86

総得点	人数		
126	～	130	89
131	～	135	77
136	～	140	101
141	～	145	74
146	～	150	91
151	～	155	103
156	～	160	92
161	～	165	113
166	～	170	101
171	～	175	100
176	～	180	85
181	～	185	69
186	～	190	75
191	～	195	83
196	～	200	42
201	～	205	40
206	～	210	30
211	～	215	19
216	～	220	19
221	～	225	7
226	～	230	4
231	～	235	3
236	～	240	0
241	～	245	0
246	～	250	0
受検者数		2,559	

## 令和6年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査の出題のねらいと分析

### 【 国 語 】

#### <出題のねらい>

知識及び技能を問う問題から総合的な思考力・判断力・表現力を問う問題まで幅広く出題した。

#### <分析>

- ・基礎的・基本的な言語事項を問う問題において、漢字の読み・書きに関する問題で正答率の低いものが見られた。
- ・文学的な文章において、登場人物の心情を説明する記述問題の正答率が低かった。
- ・説明的な文章において、文章と図表など情報と情報との関係について理解することに課題がある。
- ・古文において、全体の文脈を問う問題について正答率がやや低かった。
- ・目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて理解力をみる問題においては、正答率が高かった。
- ・作文において、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。
- ・日頃の学習の場でも、実際に言葉を通じて伝え合う言語活動を積極的に取り入れたい。
- ・また、記述問題及び作文に関しては、与えられた条件に従って、自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要がある。

### 【 社 会 】

#### <出題のねらい>

社会的事象に関する基礎的・基本的な知識や概念の理解を問う問題、既習の知識を活用し、社会的な見方・考え方を働かせながら、様々な地図、グラフ、表、資料を適切に読み取り、思考・判断・表現させる問題を出題した。

#### <分析>

- ・基礎的・基本的な知識や概念を問う問題については正答率が高かった。
- ・並べ替え問題の正答率が例年と比べて高く、選択肢にふくまれるポイントとなる情報を適切に整理し、思考した結果であると考えられる。
- ・グラフや表から地域的特色をつかむ問題や、資料をもとに、既習の知識を活用し、思考・判断し説明する問題の正答率が低かった。
- ・地理的分野では、世界の各州の地域的特色や課題、また、世界の各地域と日本との結び付き等に着目し、多面的・多角的に考察する力が求められる。
- ・歴史的分野では、各時代の特色の適切な理解とともに、特に近現代において、世界の動きとの関連に着目しながら、社会の変化の様子を的確に捉えることが重要である。
- ・公民的分野では、現代の社会生活や国際社会の動向と関連付けながら、課題について公正に判断し、表現する力が必要である。
- ・小学校での学びや三分野相互、他教科・他領域との関連等も踏まえ、持続可能な社会に寄与する公民としての資質・能力を育成する授業づくりが求められる。

### 【 数 学 】

#### <出題のねらい>

基本的事項を問う問題を多く出題するとともに、既習の基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる問題、数学的な見方・考え方を働かせて論理的に考察する力をみる問題を出題した。

#### <分析>

- ・基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高く、学習の成果がみられる。
- ・事象の特徴を捉えて式の意味を説明したり、図形の性質をもとに事柄が成り立つ理由を説明したりする問題の正答率が低かった。
- ・必要な情報を整理して立式する問題、問題や図形を多面的に考察して思考する問題の正答率が低かった。
- ・基礎となる事柄のより一層の定着を図り、それらを基に根拠や理由に着目して考えさせる指導、数学的な見方・考え方を働かせて問題解決を図る学習過程を、より充実させていくことが重要である。

## 【 理 科 】

### <出題のねらい>

理科については、基礎的・基本的な知識を問う問題や、観察・実験の結果を読み取り考察する問題を出題した。

### <分析>

- ・重要語句を問う問題、実験の操作やその結果について問う問題については、比較的正答率が高かった。
- ・実験の設定や与えられた条件などを整理し、規則性や関係性を見いだすことやそれらを用いて数値を求めることなどに課題が見られた。
- ・授業において、生徒自身が問題を見だし、自ら進んで探究する活動を行い、分析して解釈することを通して、規則性を見いだしたり、課題を解決したりするように方向付けることが大切である。
- ・観察・実験で得られたデータを分析し、根拠を明らかにして説明したり、グラフ等を用いて論理的に相手に伝え、対話することで、自らの考えをより深めたりする活動の充実が求められる。

## 【 英 語 】

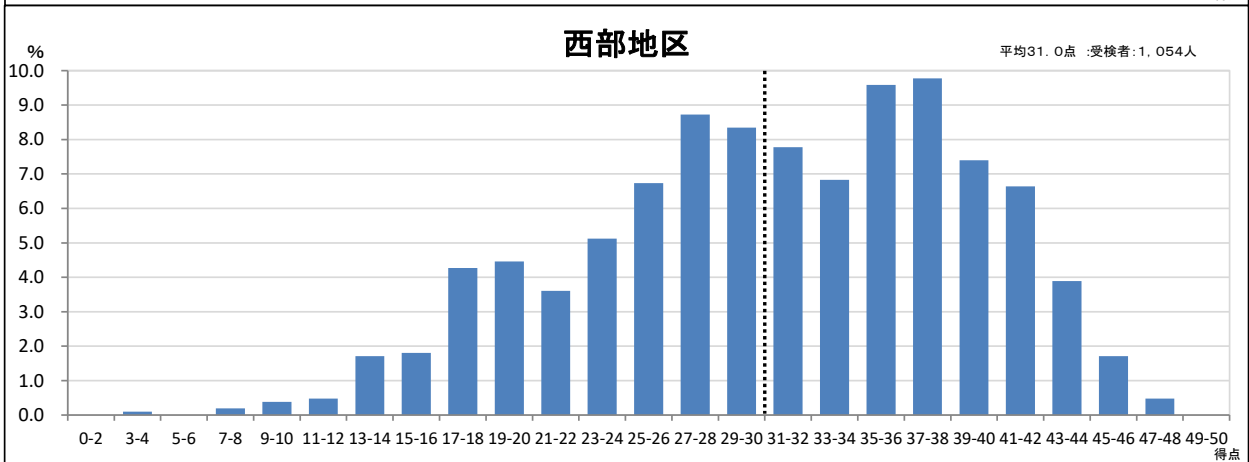
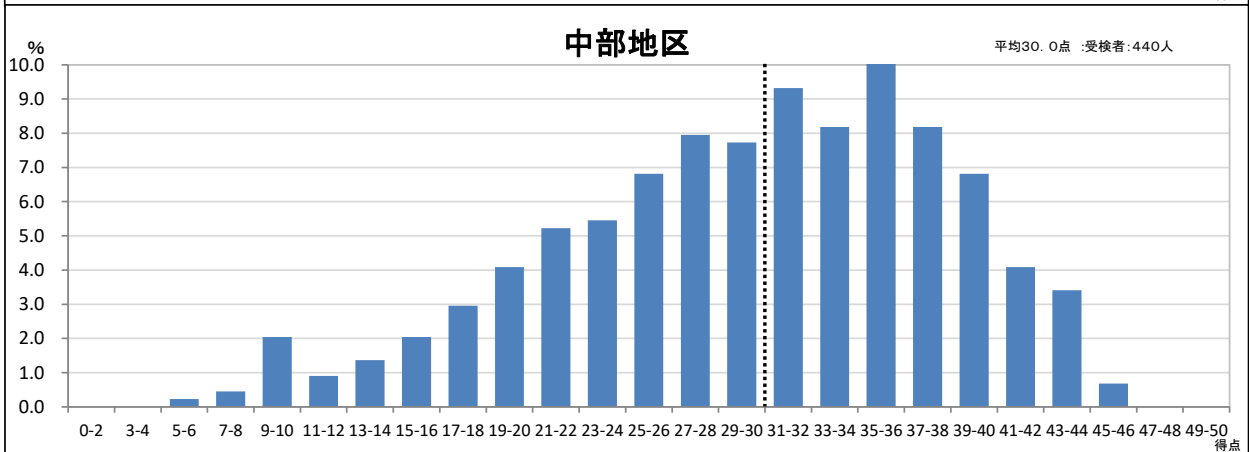
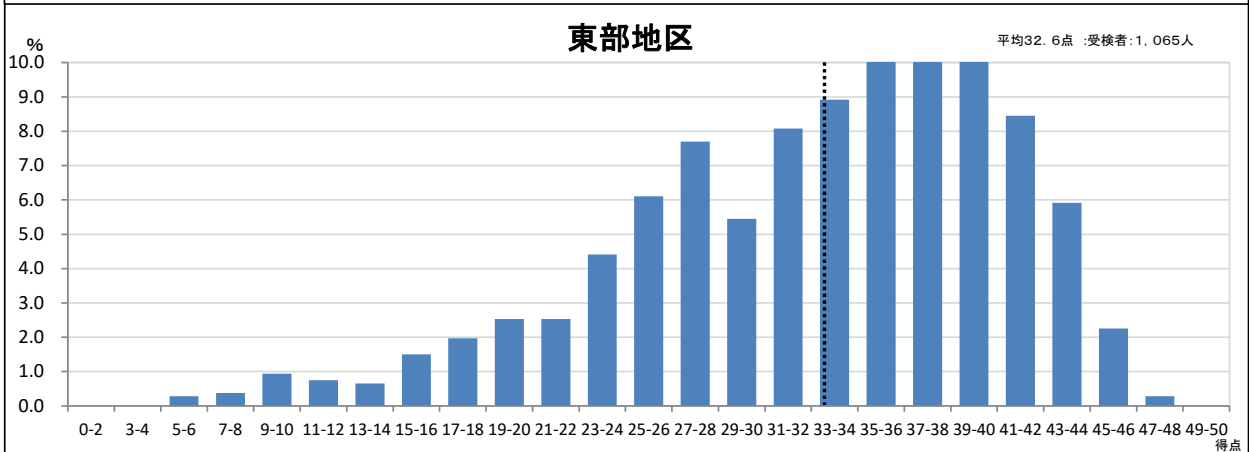
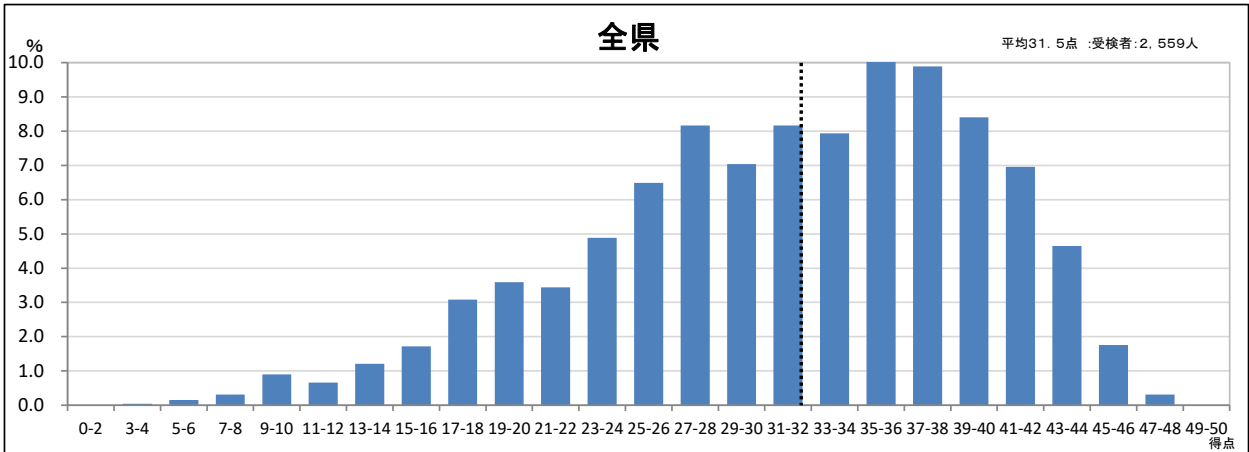
### <出題のねらい>

「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の3つの領域を中心に、知識及び技能の定着に加え、それらを活用した思考力、判断力、表現力等を測るために、実生活で見られる会話や、日常的及び社会的な話題に関するまとまりのある文章を題材に出題した。

### <分析>

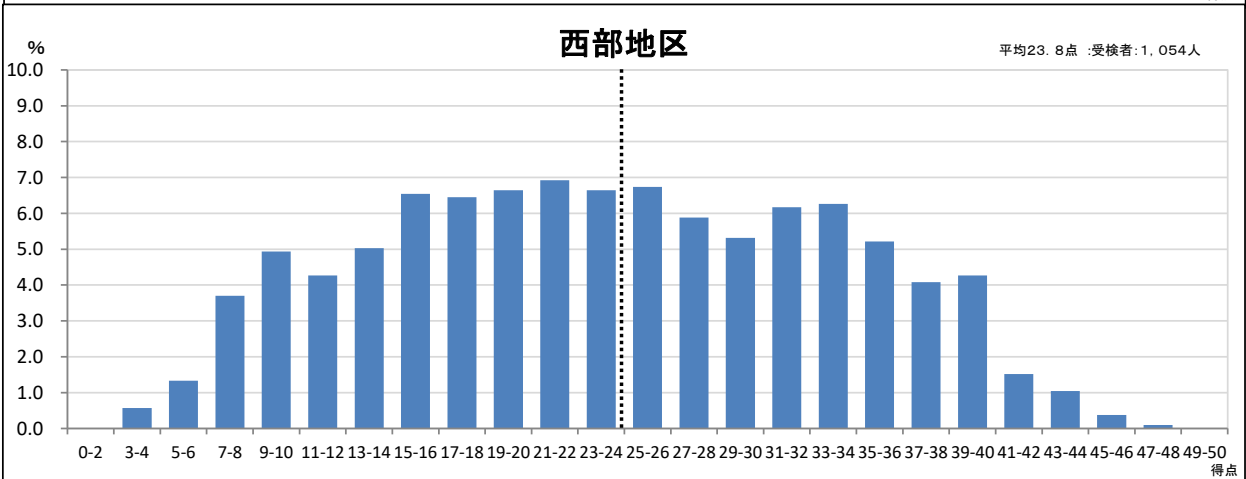
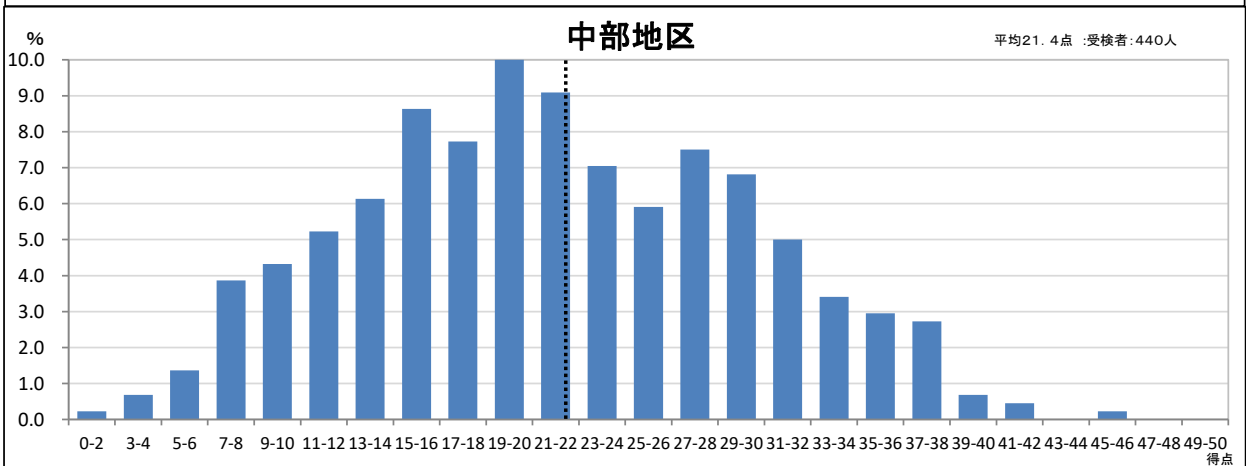
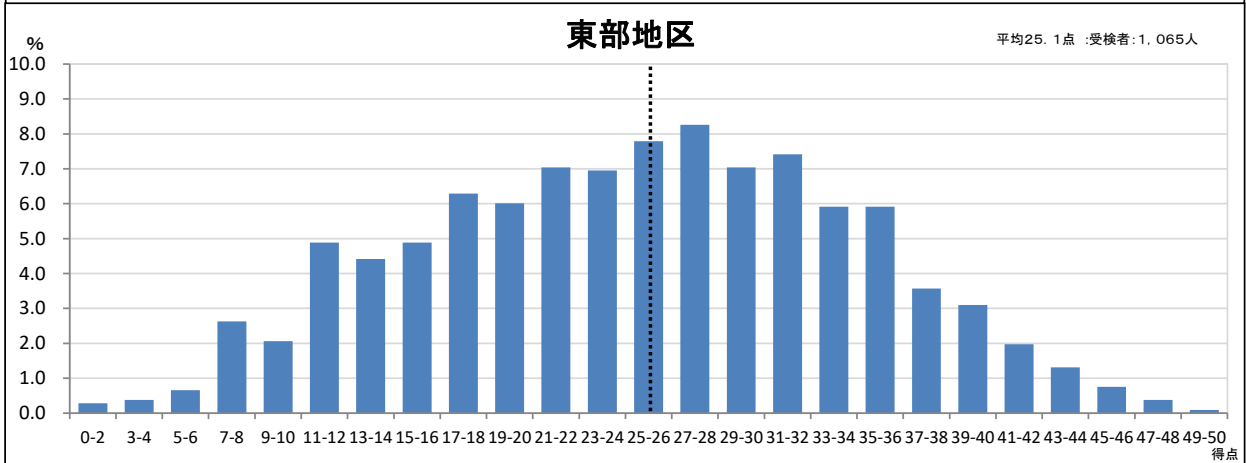
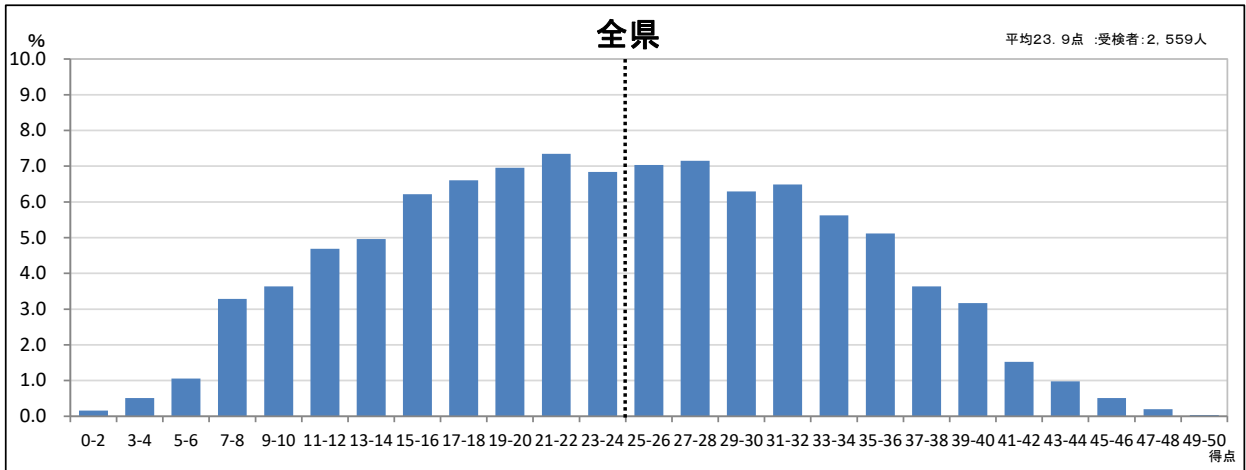
- ・まとまりのある英文を聞いて、必要な情報や要点を捉える問題や、まとまりのある物語文を読んで、概要を捉える問題の正答率は高かったが、聞き取った内容をふまえて、場面に応じた英文を書く問題や、知識・技能を活用して文を完成したり、自分の考えを表現したりする問題の正答率は低かった。
- ・今後は、普段の授業において、聞いたり読んだりした内容をふまえて、話したり書いたりする複数の領域を統合した言語活動や、考えや情報などを適切に表現するために言語面の正確さの指導を併せて行うことが求められる。

令和6年度 入学者選抜学力検査における得点状況【国語】



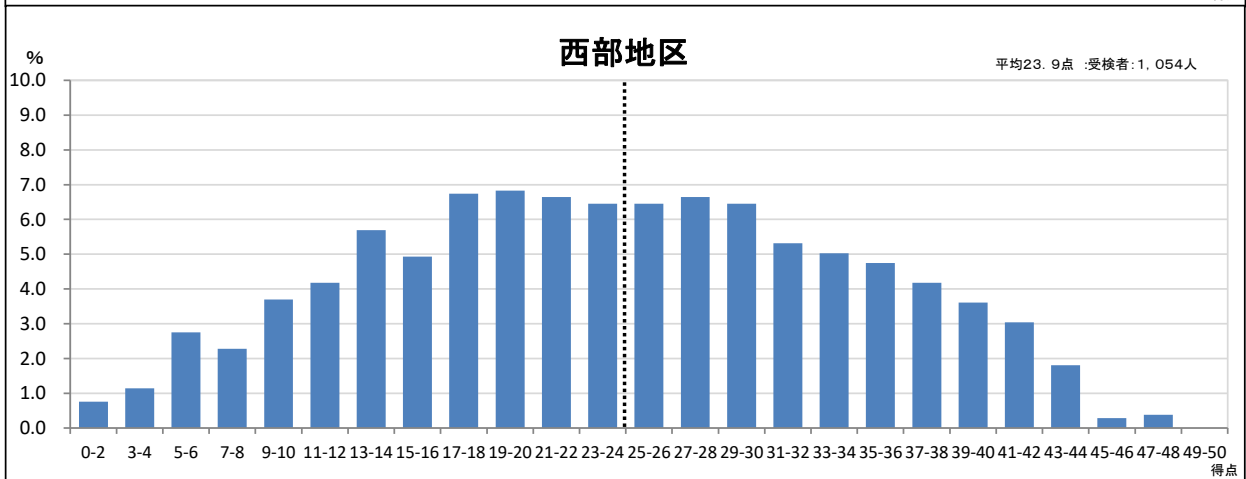
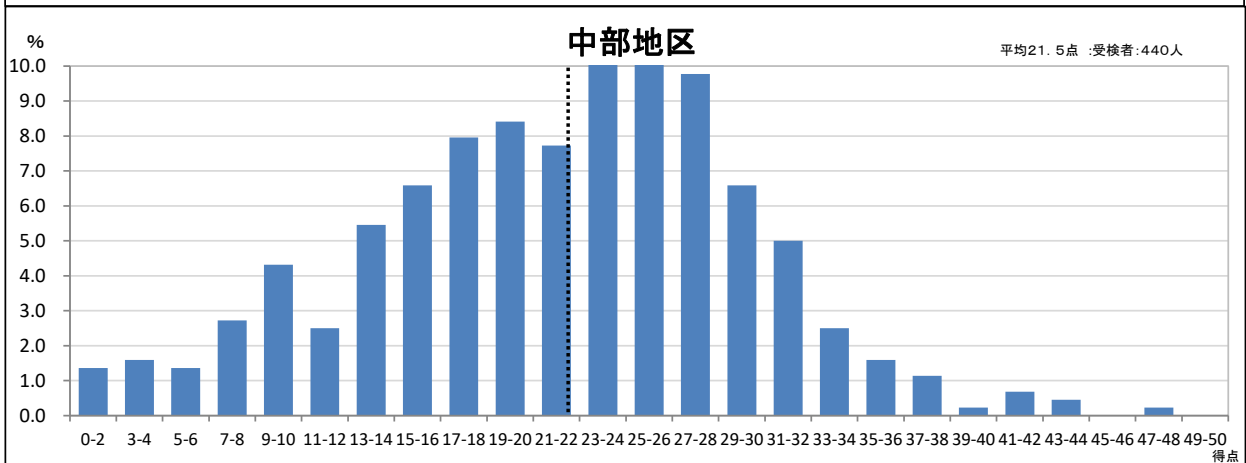
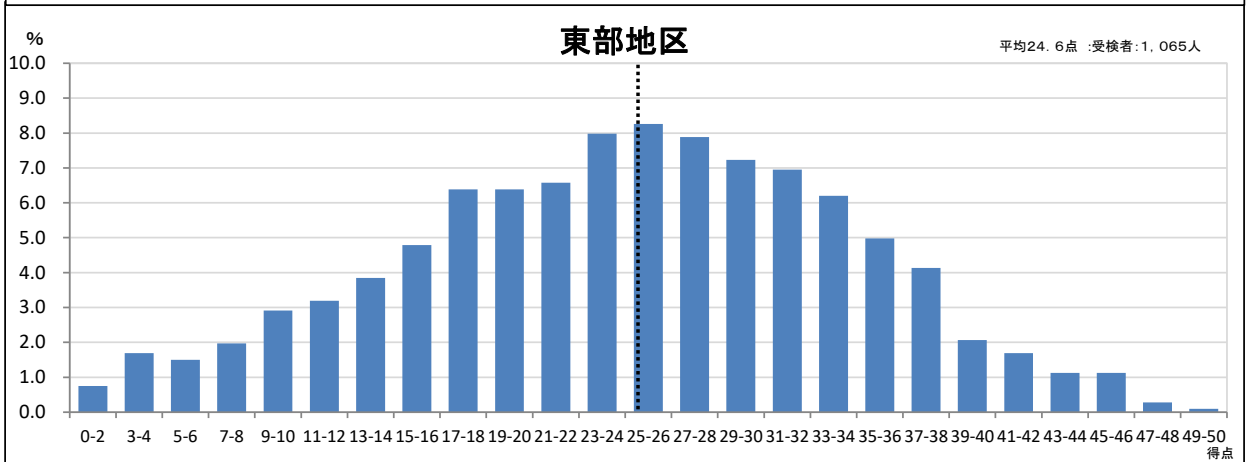
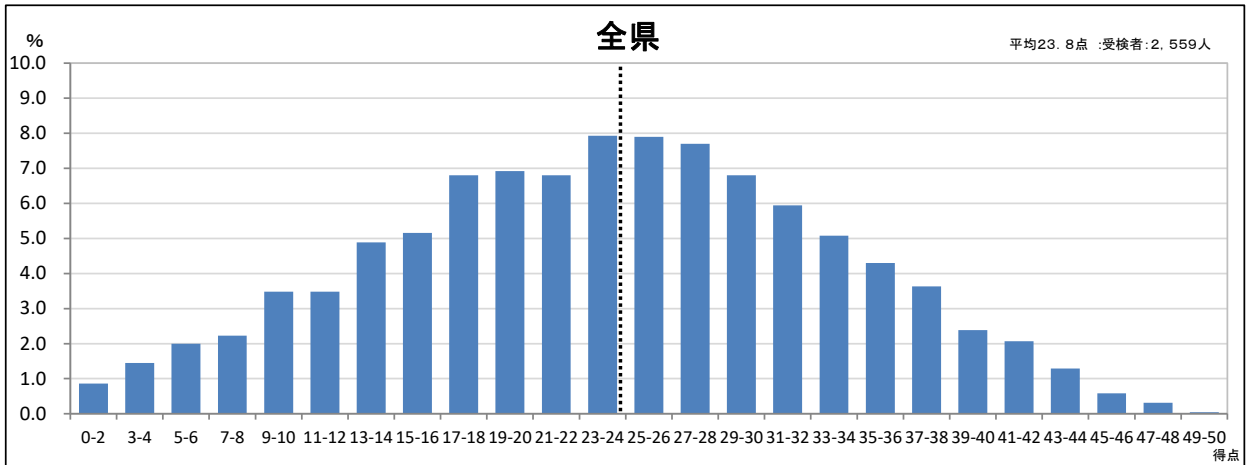
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和6年度 入学者選抜学力検査における得点状況【社会】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

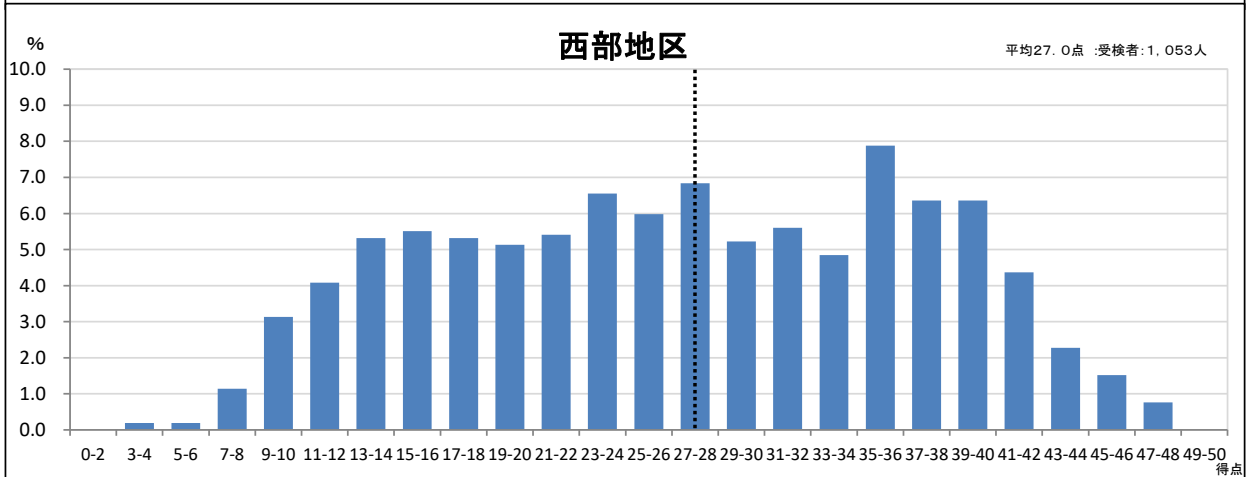
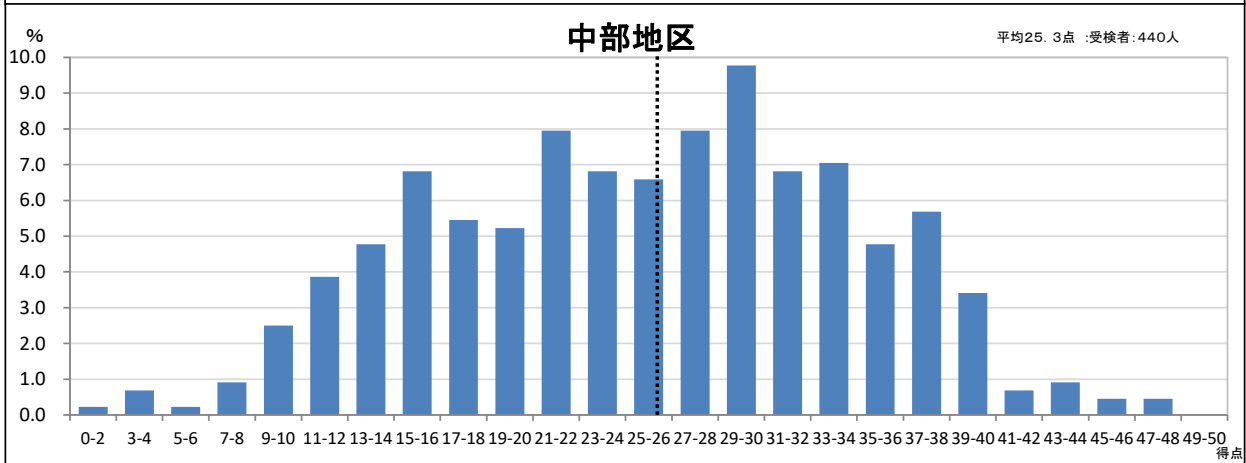
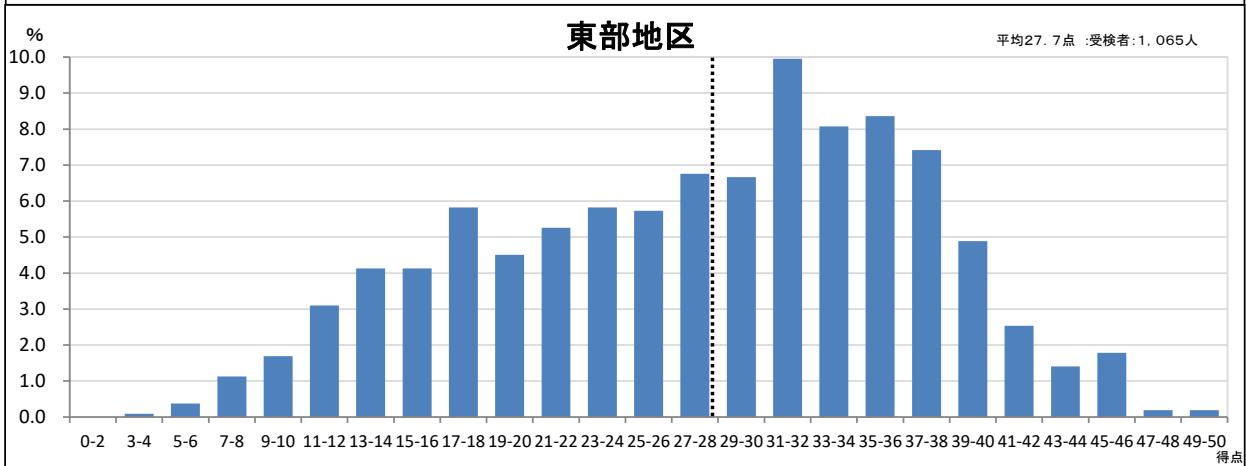
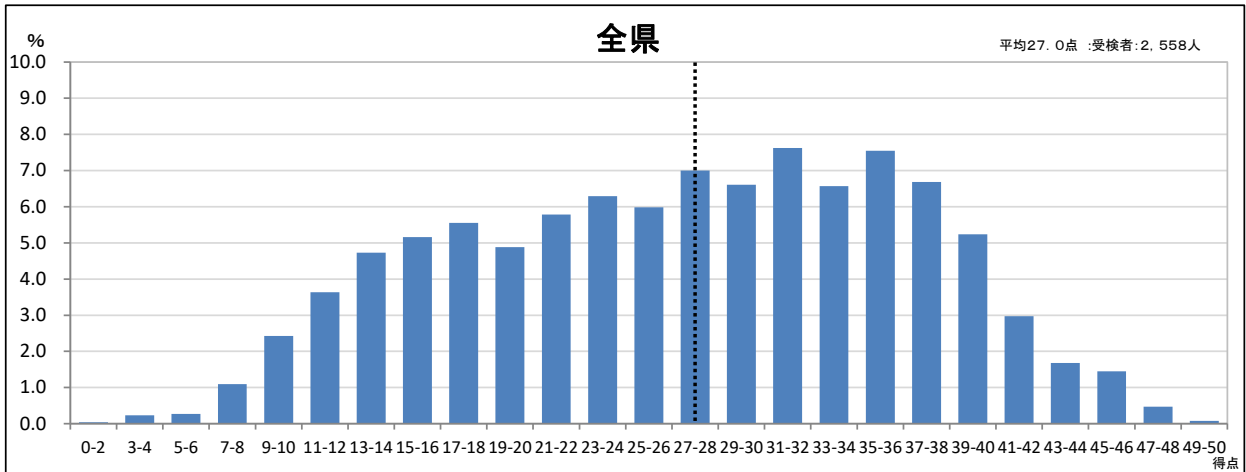
令和6年度 入学者選抜学力検査における得点状況【数学】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

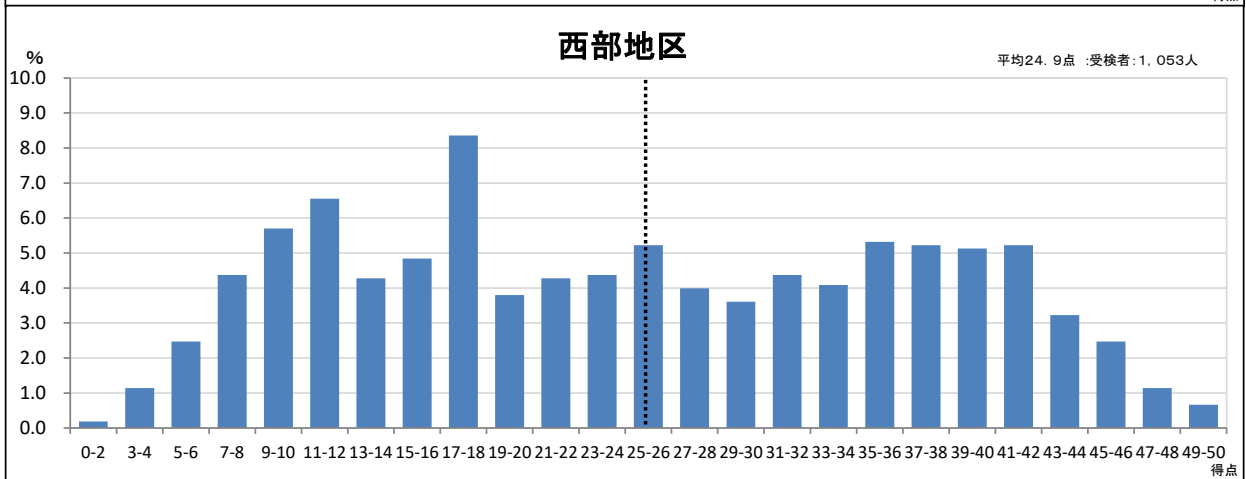
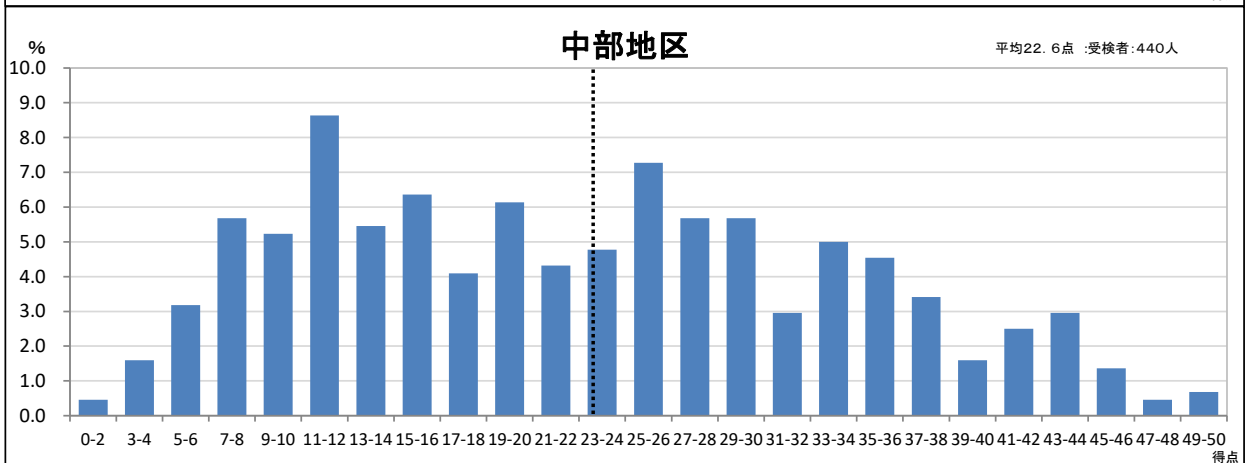
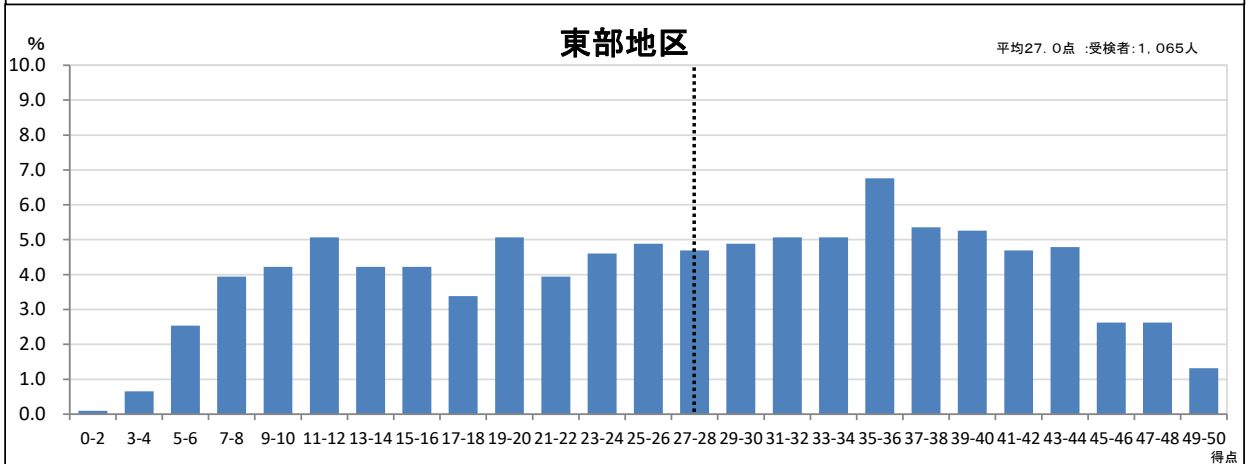
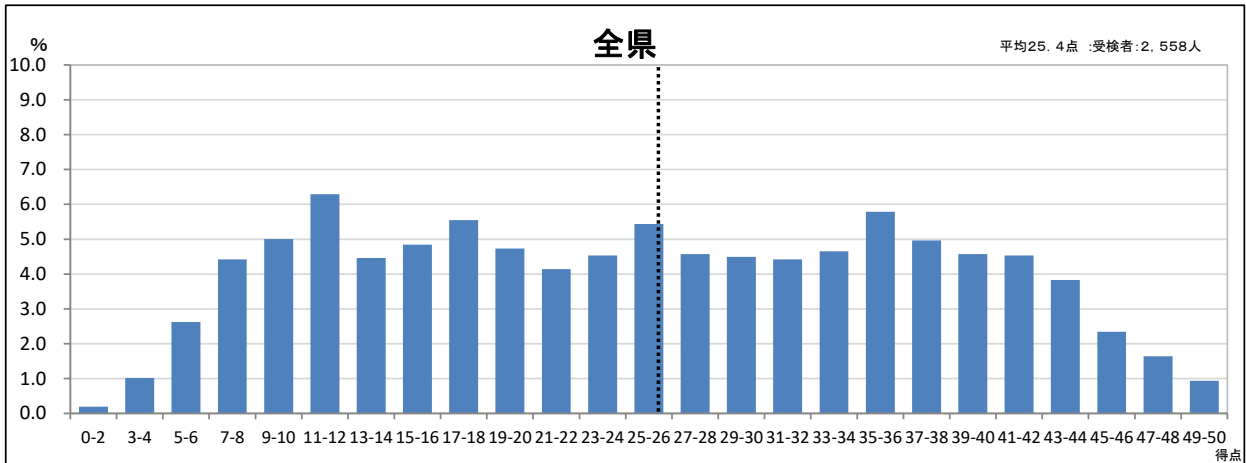


令和6年度 入学者選抜学力検査における得点状況【理科】



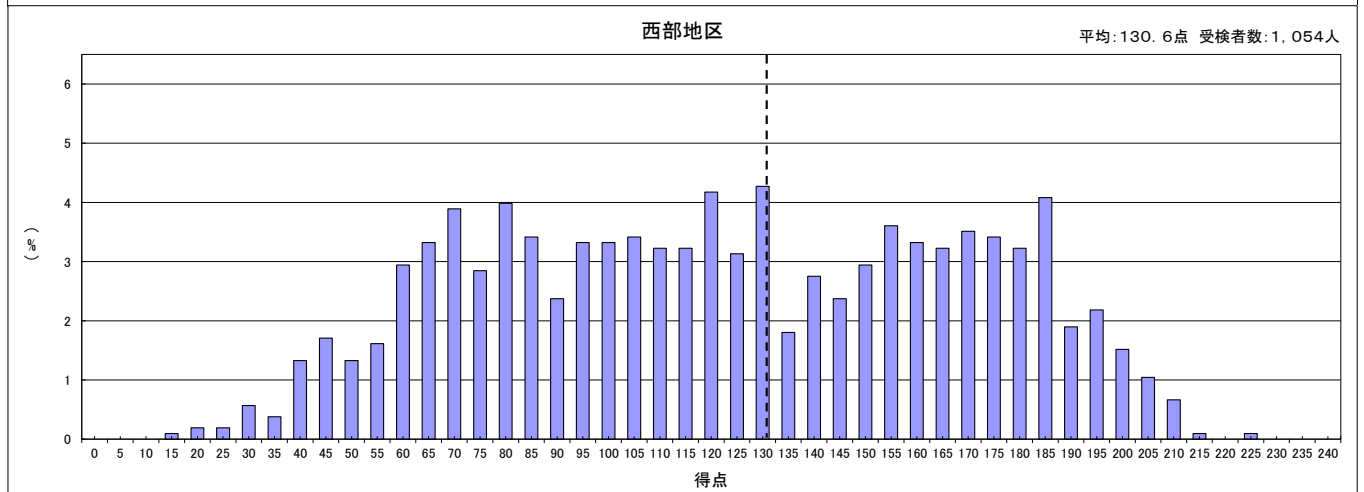
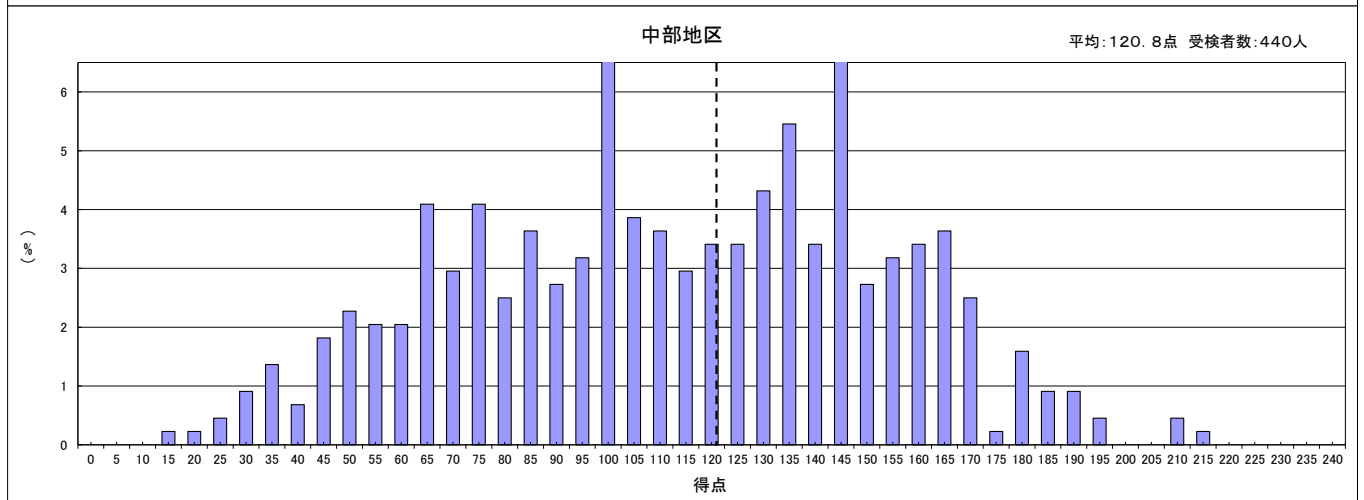
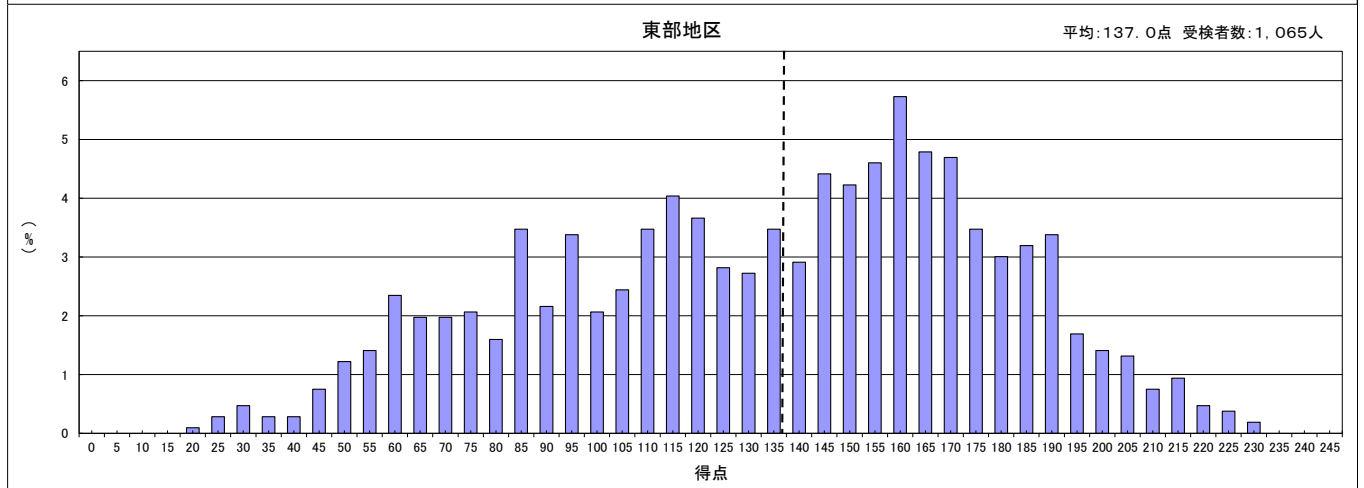
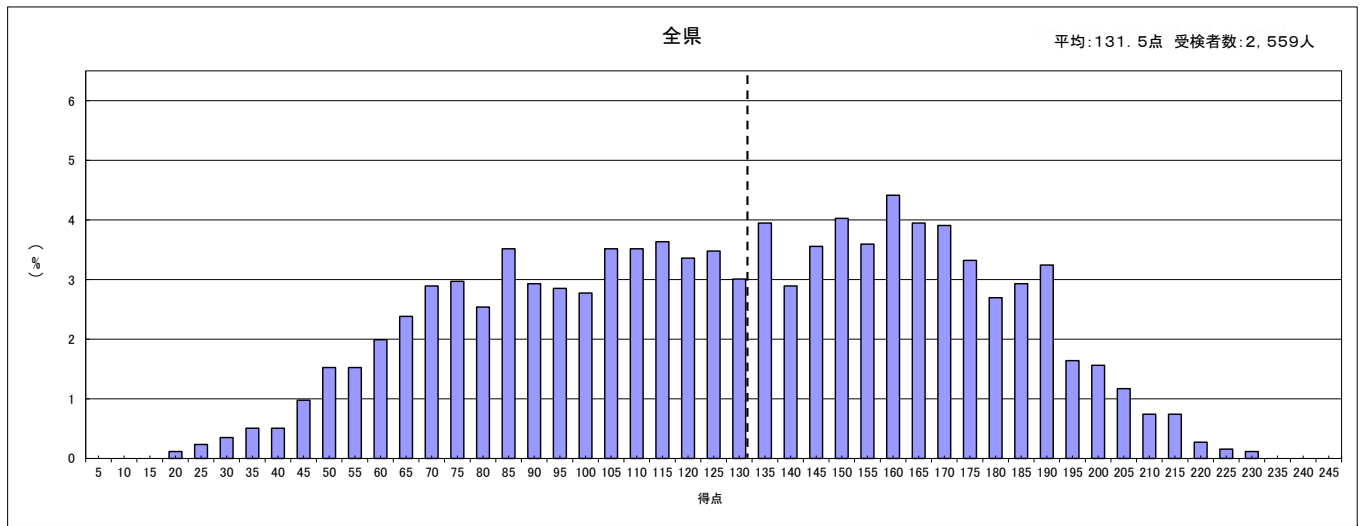
※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和6年度 入学者選抜学力検査における得点状況【英語】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

# 令和6年度 入学者選抜学力検査における得点状況【総得点】



※地区別のグラフは、各地区の高校を受検した生徒の得点状況を表しており、各地区の中学生の得点状況ではない。

令和6年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【国語】（答案数：150）

問題番号		内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題一	問一	(1)	漢字の読み	記述	85	56.7%	0	0.0%	62	41.3%	3	2.0%
		(2)	漢字の読み	記述	64	42.7%	0	0.0%	74	49.3%	12	8.0%
		(3)	漢字の書き	記述	52	34.7%	0	0.0%	57	38.0%	41	27.3%
		(4)	漢字の書き	記述	92	61.3%	0	0.0%	33	22.0%	25	16.7%
	問二	漢字の知識	番号	67	44.7%	0	0.0%	83	55.3%	0	0.0%	
	問三	書写の知識	記号	74	49.3%	0	0.0%	76	50.7%	0	0.0%	
	問四	文法の知識	記述	138	92.0%	0	0.0%	11	7.3%	1	0.7%	
		文法の知識	記述	64	42.7%	0	0.0%	76	50.7%	10	6.7%	
問五	漢文の知識	記述	67	44.7%	0	0.0%	80	53.3%	3	2.0%		
問題二	問一	内容の理解	記号	132	88.0%	0	0.0%	18	12.0%	0	0.0%	
	問二	内容の理解	記号	139	92.7%	0	0.0%	11	7.3%	0	0.0%	
	問三	内容の理解	記述	43	28.7%	78	52.0%	19	12.7%	10	6.7%	
	問四	内容の理解	記号	105	70.0%	0	0.0%	44	29.3%	1	0.7%	
	問五	内容の理解	記述	64	42.7%	43	28.7%	36	24.0%	7	4.7%	
	問六	内容の理解	記述	38	25.3%	62	41.3%	38	25.3%	12	8.0%	
	問七	表現の理解	記号	81	54.0%	0	0.0%	69	46.0%	0	0.0%	
問題三	問一	I	内容の理解	記述	110	73.3%	0	0.0%	36	24.0%	4	2.7%
		II	内容の理解	記述	128	85.3%	0	0.0%	19	12.7%	3	2.0%
	問二	内容の理解	記号	67	44.7%	0	0.0%	82	54.7%	1	0.7%	
	問三	内容の理解	記号	129	86.0%	0	0.0%	20	13.3%	1	0.7%	
	問四	内容の理解	記述	83	55.3%	0	0.0%	44	29.3%	23	15.3%	
	問五	内容の理解	記述	42	28.0%	1	0.7%	87	58.0%	20	13.3%	
	問六	内容の理解	記述	2	1.3%	70	46.7%	46	30.7%	32	21.3%	
問題四	問一	古文の知識	記述	144	96.0%	0	0.0%	5	3.3%	1	0.7%	
	問二	内容の理解	記号	122	81.3%	0	0.0%	28	18.7%	0	0.0%	
	問三	古典文法の理解	記号	67	44.7%	0	0.0%	82	54.7%	1	0.7%	
	問四	内容の理解	記号	78	52.0%	0	0.0%	70	46.7%	2	1.3%	
	問五	内容の理解	記述	129	86.0%	3	2.0%	10	6.7%	8	5.3%	
問題五	問一	内容の理解	記号	140	93.3%	0	0.0%	5	3.3%	5	3.3%	
	問二	内容の理解	記号	129	86.0%	0	0.0%	15	10.0%	6	4.0%	
	問三	内容の理解	記述	52	34.7%	74	49.3%	15	10.0%	9	6.0%	

令和6年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【社会】(答案数:150)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 日本と同緯度の雨温図(ベキン)	記号選択	40	26.7%	0	0.0%	110	73.3%	0	0.0%
		(2) 世界の貿易(小麦の輸出货量)	記号選択	48	32.0%	0	0.0%	102	68.0%	0	0.0%
		(3) 寒い地域の建物の工夫	説明	27	18.0%	61	40.7%	57	38.0%	5	3.3%
	問2	(1) EUの特色	記号選択	53	35.3%	0	0.0%	97	64.7%	0	0.0%
		(2) アメリカ、カナダ、フランスの輸出品の特色	記号選択	79	52.7%	0	0.0%	71	47.3%	0	0.0%
		(3) アフリカ州の使用言語	記号選択	73	48.7%	0	0.0%	77	51.3%	0	0.0%
	問3	(1)① 地形図の読み取り(等高線)	語句記述	56	37.3%	0	0.0%	92	61.3%	2	1.3%
		(1)② 地形図の読み取り(土地利用)	記号選択	107	71.3%	0	0.0%	43	28.7%	0	0.0%
		(2)① 製造品出荷額等割合(三重)	記号選択	66	44.0%	0	0.0%	82	54.7%	2	1.3%
		(2)② 鳥取県隣接4県の特徴	記号選択	60	40.0%	0	0.0%	90	60.0%	0	0.0%
		(2)③ ニュータウン(大都市圏の住宅問題)	語句記述	111	74.0%	0	0.0%	28	18.7%	11	7.3%
	問4	防災(京都市の雨庭)	説明	20	13.3%	43	28.7%	76	50.7%	11	7.3%
問題2	問1	(1) 鎖国下の4つの窓口の位置と藩の名称	記号選択	97	64.7%	0	0.0%	53	35.3%	0	0.0%
		(2)① 渡来人が伝えた技術(須恵器)	記号選択	105	70.0%	0	0.0%	45	30.0%	0	0.0%
		(2)② 天智天皇の政策	記号選択	48	32.0%	0	0.0%	102	68.0%	0	0.0%
		(2)③ 朝鮮通信使	語句記述	92	61.3%	0	0.0%	39	26.0%	19	12.7%
		(3) 朱印船貿易	語句記述	100	66.7%	0	0.0%	31	20.7%	19	12.7%
		(4) 江戸時代の海上交通	記号選択	33	22.0%	0	0.0%	117	78.0%	0	0.0%
		(5) 琉球の中継貿易	記号選択	89	59.3%	0	0.0%	61	40.7%	0	0.0%
	(6) 飛鳥～室町時代のできごと	並べ替え	66	44.0%	0	0.0%	83	55.3%	1	0.7%	
	問2	(1) 女性の社会進出(平塚らいてう)	語句記述	95	63.3%	0	0.0%	43	28.7%	12	8.0%
		(2)① 大正デモクラシーと護憲運動	記号選択	81	54.0%	0	0.0%	69	46.0%	0	0.0%
		(2)② 有権者の資格(男子普通選挙)	記号選択	28	18.7%	0	0.0%	121	80.7%	1	0.7%
		(2)③ 同時期のできごと(1950年代半ば)	記号選択	47	31.3%	0	0.0%	102	68.0%	1	0.7%
		(2)④ 太平洋戦争前の日本国内の様子	説明	12	8.0%	74	49.3%	34	22.7%	30	20.0%
	問題3	問1	(1) 現代社会の見方・考え方(効率・公正)	記号選択	142	94.7%	0	0.0%	8	5.3%	0
(2) グローバル化			記号選択	135	90.0%	0	0.0%	15	10.0%	0	0.0%
(3) メディアに対する信頼度アンケート			記号選択	134	89.3%	0	0.0%	16	10.7%	0	0.0%
問2		(1) 行政改革と規制緩和	記号選択	37	24.7%	0	0.0%	112	74.7%	1	0.7%
		(2)① 住民による直接請求権	語句記述	50	33.3%	0	0.0%	94	62.7%	6	4.0%
		(2)② 鳥取県人権尊重の社会づくり条例	記号選択	140	93.3%	0	0.0%	9	6.0%	1	0.7%
問3		(1) 希少性(財やサービスの量)	記号選択	134	89.3%	0	0.0%	16	10.7%	0	0.0%
		(2)① 公共の福祉(独占禁止法)	語句記述	58	38.7%	0	0.0%	77	51.3%	15	10.0%
		(2)② 公共料金(公立学校の授業料)	記号選択	73	48.7%	0	0.0%	77	51.3%	0	0.0%
問4		(1)① 人間の安全保障	語句記述	33	22.0%	0	0.0%	92	61.3%	25	16.7%
		(1)② 非政府組織(NGO)	記号選択	113	75.3%	0	0.0%	37	24.7%	0	0.0%
		(2)Y 平和な世界へ向けて(世界の核弾頭数)	説明	40	26.7%	3	2.0%	79	52.7%	28	18.7%
	(2)Z	説明	39	26.0%	18	12.0%	72	48.0%	21	14.0%	

令和6年度 鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【数学】（答案数：150）

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	(1) 正の数・負の数の計算	計算	139	92.7%	0	0.0%	11	7.3%	0	0.0%
		(2) 分数の計算	計算	141	94.0%	0	0.0%	9	6.0%	0	0.0%
		(3) 平方根を含む式の計算	計算	135	90.0%	0	0.0%	12	8.0%	3	2.0%
		(4) 多項式の計算（差）	計算	132	88.0%	0	0.0%	14	9.3%	4	2.7%
		(5) 単項式の計算（乗・除）	計算	121	80.7%	0	0.0%	24	16.0%	5	3.3%
	問2	因数分解	計算	131	87.3%	0	0.0%	11	7.3%	8	5.3%
	問3	2次方程式（解の公式）	計算	103	68.7%	0	0.0%	33	22.0%	14	9.3%
	問4	不等式の立式【立式】	立式	92	61.3%	0	0.0%	50	33.3%	8	5.3%
	問5	円周角、三角形の外角	計算	128	85.3%	0	0.0%	19	12.7%	3	2.0%
	問6	確率（硬貨の表裏、余事象）	計算	103	68.7%	0	0.0%	44	29.3%	3	2.0%
	問7	無理数の大小関係 有理化	計算	95	63.3%	4	2.7%	51	34.0%	0	0.0%
	問8	(1) 規則性【記述】	記述	53	35.3%	0	0.0%	68	45.3%	29	19.3%
		(2) 規則性【立式】	立式	23	15.3%	0	0.0%	85	56.7%	42	28.0%
	問9	作図	作図	52	34.7%	1	0.7%	76	50.7%	21	14.0%
問10	ア 三角形の合同条件【証明】	立式	110	73.3%	0	0.0%	26	17.3%	14	9.3%	
	イ 三角形の合同条件【証明】【記述】	記述	43	28.7%	11	7.3%	37	24.7%	59	39.3%	
問題2	問1	標本調査【選択】	選択	86	57.3%	0	0.0%	63	42.0%	1	0.7%
	問2	標本調査【選択】	選択	119	79.3%	0	0.0%	30	20.0%	1	0.7%
	問3	標本調査	計算	73	48.7%	0	0.0%	70	46.7%	7	4.7%
	問4	累積相対度数	計算	69	46.0%	0	0.0%	68	45.3%	13	8.7%
	問5	四分位数【記述】	記述	48	32.0%	0	0.0%	75	50.0%	27	18.0%
	問6	箱ひげ図【選択】	選択	41	27.3%	100	66.7%	5	3.3%	4	2.7%
問題3	問1	(1) 道のり 速さ 時間	計算	90	60.0%	0	0.0%	45	30.0%	15	10.0%
		(2) i 一次方程式【立式】	立式	30	20.0%	0	0.0%	66	44.0%	54	36.0%
		(2) ii 一次方程式【立式】	立式	9	6.0%	0	0.0%	68	45.3%	73	48.7%
	問2	(1) ア 連立方程式【立式】	立式	23	15.3%	0	0.0%	57	38.0%	70	46.7%
		(1) イ 連立方程式【立式】	立式	13	8.7%	0	0.0%	55	36.7%	82	54.7%
		(2) 連立方程式	計算	7	4.7%	0	0.0%	40	26.7%	103	68.7%
問題4	問1	反比例	計算	106	70.7%	0	0.0%	21	14.0%	23	15.3%
	問2	一次関数	立式	58	38.7%	1	0.7%	36	24.0%	55	36.7%
	問3	tの値 放物線	計算	24	16.0%	0	0.0%	36	24.0%	90	60.0%
		y座標 放物線	計算	20	13.3%	0	0.0%	33	22.0%	97	64.7%
	問4	(1) 格子点、反比例	応用	3	2.0%	0	0.0%	54	36.0%	93	62.0%
		(2) 格子点、反比例【思考力】	応用	0	0.0%	0	0.0%	42	28.0%	108	72.0%
問題5	問1	空間内の直線【選択】	選択	106	70.7%	0	0.0%	32	21.3%	12	8.0%
	問2	三角錐の体積	計算	61	40.7%	0	0.0%	42	28.0%	47	31.3%
	問3	三平方の定理	計算	25	16.7%	0	0.0%	39	26.0%	86	57.3%
	問4	三平方の定理、展開図【思考力】	応用	10	6.7%	0	0.0%	65	43.3%	75	50.0%
	問5	相似な立体【思考力】	応用	3	2.0%	0	0.0%	35	23.3%	112	74.7%

令和6年度 鳥取県高等学校入学選抜学力検査抽出答案による正答率等

【理科】(答案数:150)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率	
問題1	問1	絶滅についての理解	記述 語句	142	94.7%	0	0.0%	6	4.0%	2	1.3%
	問2	両生類の特徴	選択 記号選択	150	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	問3	鳥類の出現した時期	選択 記号選択	23	15.3%	0	0.0%	127	84.7%	0	0.0%
	問4(1)	相同器官についての理解	記述 語句	124	82.7%	0	0.0%	16	10.7%	10	6.7%
	問4(2)	相同器官とそうでないものの区別	選択 記号選択	78	52.0%	0	0.0%	72	48.0%	0	0.0%
問題2	問1(1)	水上置換法についての理解	記述 語句	138	92.0%	0	0.0%	9	6.0%	3	2.0%
	問1(2)	酸化銀の分解の化学反応式	記述 化学式等	45	30.0%	0	0.0%	87	58.0%	18	12.0%
	問2(1)	化学反応の量的関係をグラフに作図	記述 作図	103	68.7%	1	0.7%	40	26.7%	6	4.0%
	問2(2)	化学反応の量的関係の計算	記述 計算	41	27.3%	0	0.0%	99	66.0%	10	6.7%
問題3	問1	仮説に対する実験結果	選択 記号選択	88	58.7%	0	0.0%	62	41.3%	0	0.0%
	問2(1)	実験結果について規則性を見出す	選択 記号選択	102	68.0%	0	0.0%	48	32.0%	0	0.0%
	問2(2)	電池の消耗についての考察	記述 説明	51	34.0%	6	4.0%	79	52.7%	14	9.3%
	問3	実験結果とテーブルタップの関連付け	選択 記号選択	104	69.3%	0	0.0%	46	30.7%	0	0.0%
問題4	問1	比熱の違いと空気の流れ	選択 記号選択	74	49.3%	0	0.0%	75	50.0%	1	0.7%
	問2	空気の流れの作図	記述 作図	81	54.0%	0	0.0%	57	38.0%	12	8.0%
	問3	気圧の分布と空気の流れ	選択 記号選択	68	45.3%	0	0.0%	81	54.0%	1	0.7%
	問4	夏の季節風の風向	選択 記号選択	103	68.7%	0	0.0%	47	31.3%	0	0.0%
	問5	大気の大気の質量の計算	記述 計算	20	13.3%	0	0.0%	101	67.3%	29	19.3%
問題5	問1(1)	光合成でつくられる物質	記述 語句	135	90.0%	0	0.0%	12	8.0%	3	2.0%
	問1(2)	師管を移動する物質の性質	選択 記号選択	77	51.3%	0	0.0%	73	48.7%	0	0.0%
	問2(1)	光合成と呼吸 二酸化炭素量の割合	記述 説明	54	36.0%	4	2.7%	85	56.7%	7	4.7%
	問2(2)	光合成によってつくられる栄養分の量	選択 記号選択	121	80.7%	0	0.0%	29	19.3%	0	0.0%
問題6	問1	質量%濃度から溶質の質量を求める計算	記述 計算	100	66.7%	0	0.0%	35	23.3%	15	10.0%
	問2	電子とイオンについての理解	選択 記号選択	124	82.7%	0	0.0%	25	16.7%	1	0.7%
	問3	化学電池の金属の変化	選択 記号選択	115	76.7%	0	0.0%	35	23.3%	0	0.0%
	問4(1)	金属のイオンへのなりやすさ	選択 並べ替え	115	76.7%	0	0.0%	33	22.0%	2	1.3%
	問4(2)	電池の電圧と金属の組み合わせ	記述 説明	65	43.3%	5	3.3%	67	44.7%	13	8.7%
問題7	問1	互いに及ぼしあう力についての理解	選択 記号選択	32	21.3%	0	0.0%	117	78.0%	1	0.7%
	問2	ばねののびについて適切なグラフを選択	選択 記号選択	70	46.7%	0	0.0%	80	53.3%	0	0.0%
	問3(1)	ばねののびの計算	選択 記号選択	25	16.7%	0	0.0%	124	82.7%	1	0.7%
		ばねののびの計算	選択 記号選択	26	17.3%	0	0.0%	123	82.0%	1	0.7%
	問3(2)	ばねを引く力の作図	記述 作図	50	33.3%	0	0.0%	89	59.3%	11	7.3%
問題8	問1	れき岩についての理解	記述 語句	87	58.0%	0	0.0%	50	33.3%	13	8.7%
	問2	岩石を区別する実験	選択 記号選択	111	74.0%	0	0.0%	38	25.3%	1	0.7%
	問3	双眼実体顕微鏡の操作	記号 並べ替え	25	16.7%	0	0.0%	123	82.0%	2	1.3%
	問4	鍵層についての理解	記述 語句	84	56.0%	0	0.0%	50	33.3%	16	10.7%

令和6年度鳥取県立高等学校入学者選抜学力検査抽出答案による正答率等

【英語】(答案数:150)

問題番号	内容	出題形式	正答数	正答率	部分点数	部分点率	誤答数	誤答率	無答数	無答率		
問題1	問1	No.1	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	148	98.7%	0	0.0%	2	1.3%	0	0.0%
		No.2	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	114	76.0%	0	0.0%	36	24.0%	0	0.0%
		No.3	短文の聞き取り(イラスト選択)	記号選択	75	50.0%	0	0.0%	75	50.0%	0	0.0%
	問2	No.1	対話の聞き取り	記号選択	93	62.0%	0	0.0%	57	38.0%	0	0.0%
		No.2	対話の聞き取り	記号選択	123	82.0%	0	0.0%	27	18.0%	0	0.0%
	問3	(1)	まとまりのある英文の聞き取り	記号選択	108	72.0%	0	0.0%	42	28.0%	0	0.0%
		(2)	まとまりのある英文の聞き取り	記号選択	96	64.0%	0	0.0%	54	36.0%	0	0.0%
	問4	(1)	まとまりのある対話の聞き取り	記号整序	31	20.7%	0	0.0%	119	79.3%	0	0.0%
		(2)	まとまりのある対話の聞き取り	英文記述	23	15.3%	15	10.0%	52	34.7%	60	40.0%
	問題2	問1	No.1	対話文中の単語補充	単語補充	57	38.0%	0	0.0%	87	58.0%	6
No.2			対話文中の単語補充	単語補充	79	52.7%	0	0.0%	63	42.0%	8	5.3%
No.3			対話文中の単語補充	単語補充	43	28.7%	0	0.0%	94	62.7%	13	8.7%
問2		No.1	英文中の単語補充	記号選択	91	60.7%	0	0.0%	59	39.3%	0	0.0%
		No.2	英文中の単語補充	記号選択	52	34.7%	0	0.0%	98	65.3%	0	0.0%
問3		語形変化及び不足語補充	英文部分記述	60	40.0%	2	1.3%	68	45.3%	20	13.3%	
問題3	問1	No.1	対話文完成(英文記述)	英文記述	84	56.0%	15	10.0%	44	29.3%	7	4.7%
		No.2	対話文完成(英文記述)	英文記述	46	30.7%	23	15.3%	62	41.3%	19	12.7%
	問2	テーマ英作文(情報提供(意味と使用場面))	テーマ英作文	16	10.7%	55	36.7%	52	34.7%	27	18.0%	
問題4	問1	(1)	・内容把握(英文選択)	記号選択	97	64.7%	0	0.0%	52	34.7%	1	0.7%
		(2)	・内容把握(語句選択)	記号選択	78	52.0%	0	0.0%	70	46.7%	2	1.3%
	問2	・内容把握(語句選択)	記号選択	79	52.7%	0	0.0%	71	47.3%	0	0.0%	
	問3	(1)	・内容把握(英文選択)	記号選択	68	45.3%	0	0.0%	82	54.7%	0	0.0%
		(2)	・内容把握(英文選択)	記号選択	38	25.3%	0	0.0%	112	74.7%	0	0.0%
問題5	問1	・内容把握(イラスト並べ替え)	記号整序	104	69.3%	0	0.0%	45	30.0%	1	0.7%	
	問2	・内容把握(語句選択)	記号選択	97	64.7%	0	0.0%	53	35.3%	0	0.0%	
	問3	・内容把握(英文選択)	記号選択	86	57.3%	0	0.0%	64	42.7%	0	0.0%	
	問4	・内容把握(英文選択)	記号選択	90	60.0%	0	0.0%	59	39.3%	1	0.7%	
	問5	・内容把握(和文記述)	和文記述	33	22.0%	21	14.0%	65	43.3%	31	20.7%	
	問6	・内容把握(英作文)	英文記述	31	20.7%	32	21.3%	38	25.3%	49	32.7%	



## 《 国 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 国語の基礎的・基本的事項についての知識が身につけているかをみる。
- 2 文学的な文章を読むことを通して、場面、心情、表現の特色などを的確に読み取る力や、読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 3 説明的な文章を読むことを通して、筆者のものの見方や考え方、論の展開を的確に読み取る力や読み取った内容を与えられた条件に従って表現する力をみる。
- 4 古典を読むことを通して、伝統的な言語文化に関する事項や記述された内容について、理解する力をみる。
- 5 目的や場面に応じて話すこと・聞くことについて、その理解力をみる。また、与えられた条件に従い、目的に応じて資料から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして、自分の考えを文章にまとめる力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題一は、小問集合形式による出題とし、国語の学習の基礎的・基本的な言語事項について理解する力をみる問題構成とした。漢字の読み・書きに関する問題には正答率は5割弱にとどまった。漢字の知識、文法の知識、漢文の知識を問う問題の正答率もそれぞれ5割を下回り、基本的な語句や文法等について、今後も継続して、正しい理解・定着に努めたい。
- 2 問題二は、文学的な文章からの出題とし、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を理解する力、また、表現の効果について理解する力をみる問題構成とした。内容の理解度を問う問題については、記号選択問題では正答率が高かったが、記述問題では正答率が低かった。また表現について問う記号選択問題においては5割程度の正答率にとどまった。場面と描写に注意して、登場人物の心情や主題を読み取る力、表現について考える力の育成が重要である。
- 3 問題三は、説明的な文章からの出題とし、論の展開・構成・内容・文脈を理解する力をみる問題構成とした。文章と図との関係を読み取る問題について、正答率が低く、他と比べ無答率が高かった。必要な情報を正確に捉えて要約する力をみる60字記述問題については、正答率がきわめて低く、無答率も2割強であった。それぞれの部分とどの部分とが関連しているのかを確認し、書き手の伝えたい内容を正確に読み取る力の育成が重要である。
- 4 問題四は、古文の基本的な知識や内容を理解する力をみる問題構成とした。古典文法の理解に関する問題は正答率が低かったが、内容理解に関する問題は正答率が高かった。日頃の学習において、現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方に触れ、古典により一層親しむ態度を育てたい。
- 5 問題五は、鳥取県の中学生が文化祭での発表に向けて行った「話し合い」の場面を設定し、話すこと・聞くことに関する力を問う問題構成とした。また、話し合いの内容に関連して「芸術」を取り上げ、与えられた条件に従い、根拠を明確にして、自分の考えを的確に表現する力を問う問題構成とした。話すこと・聞くことに関する力を問う問題は正答率が高かった。作文においては、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題がある。与えられた条件に従って、根拠を明確にしながらか自分の考えを文章にまとめる力を育成していく必要がある。

## 《 社 会 》

### 【出題の基本方針】

- 1 世界と日本の地理的事象について、地図、グラフなどの資料をもとに、その地域的特色を考察する地理的な見方・考え方が身につけているかをみる。
- 2 日本の歴史における各時代の特色や事柄を、年表や図などの資料をもとに多面的・多角的に考察し、歴史の大きな流れなどを大観して、総合的に理解しているかをみる。
- 3 日本の政治や経済、国際社会の基本的なしくみを理解し、社会的事象について今日の生活とのかかわりの中で思考・判断し、表現する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、地理的分野に関する出題とし、問1と問2は世界地理、問3と問4は日本地理からの出題とした。問3(1)②《土地利用》、問3(2)③《ニュータウン》のように、基礎的・基本的な知識や概念を問う問題の正答率が高かった。一方、問1(1)《ペキンの雨温図》、問1(2)《小麦の輸出量》のように、日本と同緯度に位置する都市の雨温図や、統計資料を正確に読みとり、国や地域の特色から正解を導き出すような形式の問題の正答率が低かった。また、問1(3)《寒い地域の建物の工夫》の説明問題では、高床になっている理由を「建物から出る熱」により永久凍土が溶かされることに着目した解答が少なかった。問4では、「雨庭」に着目して「防災」という視点から、日常生活体験やマンホールから水が飛び出す仕組みを踏まえながら知識を活用する総合的な問題であったが、正答率は13.3%と低かった。今後も、現在の社会動向にも関心を持たせながら、単に地域的特色を理解するだけでなく、事象間の関連を考察しながら学習した地域的特色を総合的にとらえる力や、様々な資料を適切に選択・活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し表現する力を身に付けさせることが重要となる。
- 2 問題2は、歴史的分野に関する出題とし、問1は古代から近世、問2は近世から現代までの歴史を出題した。問1(1)《鎖国下の4つの窓口》、問1(2)①《須恵器》、問1(3)《朱印船貿易》のように、小学校での学習もふくめ、基礎的・基本的な知識は身に付いている。また、問1(6)の並べ替え問題の正答率が例年と比べて高く、選択肢にふくまれるポイントとなる情報を適切に整理し、思考した結果であると考えられる。一方、問1(2)②《天智天皇の政策》、問1(4)《江戸時代の海上交通》、問2(2)②《有権者の資格》の正答率が低く、語句として認識していても内容を正確に把握できておらず、似たような語句と内容が混在してしまっていることに課題が見られた。また、問2(2)④の説明問題の正答率が極めて低く、与えられた資料をもとに、既習事項を生かして思考・判断し説明することに大きな課題が見られた。我が国の歴史の大きな流れを理解させる学習を重視するとともに、近現代史の学習を一層充実させ、日常の社会生活と関連付けながら社会的事象の歴史的な見方・考え方を養うことが重要である。
- 3 問題3は、公民的分野に関する出題とした。問1(1)《効率と公正》、問1(2)《グローバル化》、問2(2)②《鳥取県人権尊重の社会づくり条例》の正答率は9割を超え、問1(3)《メディア》、問3(1)《希少性》、問4(1)②《NGO》の正答率が7割を超えていた。各校において、人権やSDGsなど現代社会の課題に対応した学習を意識した学習の充実が感じられる。一方、問2(1)《行政改革》、問4(1)①《安全保障》の正答率が2割と低く、これからの行政の在り方や国際社会のよりよい発展といった、社会科ならではの主権者教育に関する基礎的・基本的な知識の定着に課題が見られた。現代社会の見方・考え方の基礎を育成するとともに、社会の形成に参画する態度を養うことが大切であり、公民的分野に関する知識を習得するだけでなく、様々な資料を適切に収集した上で多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に選択・判断する力を養うことが重要である。
- 4 三分野とも、基礎的・基本的な知識や概念の習得に成果が見られた。一方、与えられた資料やグラフを正確に読み取り、習得した知識や概念を活用し表現することに課題が見られた。「何を理解しているか、何ができるか(生きて働く「知識・技能」の習得)」「理解していること、できることをどう使うか(未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成)」「どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか(学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」の涵養)」の、育成を目指す資質・能力の三つの柱を踏まえた学習の充実が引き続き求められる。また、三分野の特質に応じた視点を生かした考察や構想(選択・判断)に向かう「問い」を設定し、「社会的な見方・考え方」を働かせることで社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連等を考察したり、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする学習の一層の充実が求められる。

## 《 数 学 》

### 【出題の基本方針】

- 1 各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項に関する理解をみるとともに、計算する力・表現する力が身についているかをみる。
- 2 基本的な概念や原理・法則を生かして、見通しをもって問題を分析し、処理する力をみる。
- 3 数学的な見方・考え方を働かせて、対象を論理的に考察し、課題を解決する力をみる。
- 4 日常生活における題材について、数理的に考察し、処理する力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、小問集合とし、各学年の学習内容について、基礎的・基本的事項の理解度及び計算力・表現力を問う問題を多く出題した。基本的な計算や数値を求める問題は正答率が高かった。事象の特徴を捉えて式の意味を説明する問8（1）の正答率が35.3%、三角形の合同を証明する問10イの正答率は28.7%と数学的に表現する力に課題がみられた。
- 2 問題2は、身近な場面をとりあげた資料を用い、正しく分析、処理する力を問う問題とした。問6の選択問題については、一見正しく見える誤った選択肢があり、完答率27.3%と、誤答が多くみられた。箱ひげ図についての正しい理解、また、物事を批判的に考察し、検証しようとする姿勢の育成が重要である。
- 3 問題3は、身近な場面をとりあげ、情報を処理し、式を用いて数理的に考察し課題を解決する力を問う問題とした。問1（1）は基礎的な速さの問い、（2）は文章から一次方程式を立式する問いであるが、正答率は（1）が60.0%、（2）は2題とも20.0%以下となった。時間の単位を用途に応じて「時間」、「分」で整理する必要があり、それに対応できなかった誤答が多くみられ、基礎的な力の定着が重要である。
- 4 問題4は、放物線や反比例を題材に、式やグラフを活用して数学的に表現・処理し、課題を解決する力を問う問題とした。問1の正答率は70.7%で一定の理解と定着がみられた。問2は2点を通る直線の式を求める問いであるが、正答率は38.7%と低い。この問いは、まず通る2点の座標を求める必要があるが、順序立てた思考ができていないと推察される。問題を解決するにあたり、見通しを立てて考察する力の育成が重要である。
- 5 問題5は、空間図形を題材に、数学的な見方・考え方を働かせて図形を捉え、課題を解決する力を問う問題とした。問4は、ひものかけ方を複数想定し、その中から適切なものを検証する必要がある問いであるが、かけ方を複数想定できなかった誤答が多くみられた。多角的な視点から考察し、課題を解決する力の育成が重要である。

## 《 理 科 》

### 【出題の基本方針】

- 1 自然の事物・現象について、基礎的・基本的事項を理解し、知識が身につけているかをみる。
- 2 自然の事物・現象の中に規則性・法則性を見いだすなど、科学的な見方や考え方が身につけているかをみる。
- 3 観察・実験で得た結果を処理し、総合的に考察して、自らの考えを表現する力をみる。
- 4 身近な自然の事物・現象に興味・関心をもち、科学的に探究する態度が育っているかをみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1は、生物分野に関する出題とした。多様な脊椎動物の特徴を比較することを通して、5つの仲間の間には段階的に共通性がみられることや脊椎動物の出現する時代、相同器官についてみる問題である。問3の鳥類の出現した時期について選択する問題は正答率が15.3%と低かった。問4(1)の相同器官を答える問題は正答率が82.7%と高かった。
- 2 問題2は、化学分野に関する出題とした。物質の化学変化について、金属と結合する酸素の量を、実験を通して考察する力をみる問題である。問1の水上置換法を答える問題は正答率が92.0%と高く、実験操作についての基本的事項の高い定着が見られた。グラフの作図では、データからグラフにするべき数値を導き出し、「変化させた量」と「変化する量」を正しく把握することに課題が見られた。実験結果を分析し、課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能を身に付ける指導の工夫が必要である。
- 3 問題3は、物理分野に関する出題とした。豆電球の明るさの違いについて、課題を見出し、仮説を立て、見通しを持って実験を行うことで規則性を見いだす力をみる問題である。問2(2)の電力の消費に関する問題は、正答率が34.0%であった。実験結果から見いだした規則性を、現象と関連付けて表現する力を育成する指導の工夫が必要である。問3のテーブルタップへの電気器具の接続については、正答率が69.3%であり、日常生活との関連を意識した授業の成果である。
- 4 問題4は、地学分野に関する出題とした。岩石と水の比熱の違いと、空気の密度の変化を関連付けたり、地球規模の大気の循環について、実験結果から見いだすことができるかをみる問題である。問2は正答率が54.0%、問3は正答率が45.3%であった。授業において、現象を作図で表現する場面を積極的に設定し、根拠を明らかにして自分の考えを説明するなど、表現力を育成する指導の工夫が必要である。問5の大気の質量の計算は正答率が13.3%と低く、単位の変換について課題が見られた。
- 5 問題5は、生物分野に関する出題とした。植物の光合成と呼吸について、二酸化炭素の出入りから関係性を見いだす場面を設定し、光の強さと光合成で合成する栄養分の量を、実験を通して考察できるかをみる問題とした。全体的に正答率も高く、植物の光合成と呼吸の関係について、基本的事項の定着がみられた。
- 6 問題6は、化学分野に関する出題とした。電解質水溶液と金属をもちいた電池のしくみについて理解し、実験結果から電池の電圧の大きさと金属の組み合わせを関連付けながら考えることができるかをみる問題とした。計算を含め、全体的に正答率も高く、基本的事項の定着がみられた。
- 7 問題7は、物理分野に関する出題とした。力の合成と分解についての実験を行う場面を設定し、規則性にもとづいて、与えられた条件での結果を予測し表現できるかをみる問題とした。全体的に正答率が低く、実験の設定や与えられた条件などを整理し、規則性や関係性を見いだすことや、整理した条件から課題解決に必要な数値を求め、活用することなどに課題が見られた。問3(2)についても正答率が33.3%と低く、力の大きさや向きを矢印で表すことに課題が見られた。
- 8 問題8は、地学分野に関する出題とした。堆積岩について、構成する鉱物の粒子の大きさや、区別の仕方について理解ができているかをみる問題とした。問2の岩石を区別する実験操作の問題は正答率が74.0%と高かった。実験操作と岩石の特徴について基本的事項の定着がみられた。

## 《 英 語 》

### 【出題の基本方針】

- 1 「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「書くこと」の各領域にわたる基礎的・基本的な知識と、それを活用する力が身につけているかをみる。
- 2 短い英語を聞いて、情報を正確に聞き取ったり、まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を捉え、話し手の意向などを理解したりする力をみる。
- 3 日常的な話題について、初歩的な英語を用いて、自分の考えなどを表現する力をみる。
- 4 日常的な話題や社会的な話題に関する説明などを読んで、イラストや図表なども参考にしながら、必要とする情報や要点を正確に読み取る力を見る。
- 5 まとまりのある文章を読んで、本文の展開や、登場人物の行動や心情の変化などを正確に読み取る力をみる。

### 【結果の概要】

- 1 問題1の短文や短い会話を聞いて内容を理解する問題、及び中学生による意見発表や観光ガイドによる説明を聞いて必要な情報や要点を捉える問題では、正答率が60%を超え高かった。しかし、オンライン交流についてのやや長めの会話を聞いて活動の順番を答える問題では正答率が約20%、聞き取った内容をふまえて発表の冒頭部分にふさわしい英文を書く問題では正答率約15%、また無答率は40%と高く、課題が見られた。普段の授業において、まとまりのある英語を聞いて、聞いた内容をふまえて、話したり書いたりする複数の領域を統合した言語活動の実施が求められる。
- 2 問題2の文脈に合う英文を完成する問題では正答率が40%で、昨年度約14%から大幅に向上した。しかし、対話や文章の流れからふさわしい使役動詞を答える問題の正答率は30%以下、また、文と文をつなぐ接続詞を答える問題の正答率は約35%にとどまり、課題が見られた。普段の授業において、語彙や文法事項を理解したうえで、実際に使用する場面を設け、定着を図る必要がある。
- 3 問題3は、日常的な話題についてやり取りする際に必要となる基本的な表現や、自分の考え等をまとまりのある英語で述べる表現力をみた。テーマ英作文の正答率は約10%であり、授業で慣れ親しんだ表現を正確に書くことや、必要な情報を適切に表現することに課題が見られた。普段の授業において、スモールトーク等の言語活動を実施し、中間指導等を行ったり話したことを書く活動を実施したりして、正確な知識の定着を図ることが求められる。
- 4 問題4の「読むこと」に関する問題では、「宅配便の再配達問題」、「おすすめの宿泊先」、「自分たちの町の紹介」を題材とした読解問題を出題した。問1ではグラフを参考にしながら必要な情報を読み取る力、問2では複数の情報を整理・統合する力、問3ではイラストを参考にしながら複数の情報を正確に読み取る力をみた。グラフの推移を説明する比較級を含む英文の理解に係る問題は正答率が約65%と高かった。しかし、複数の情報を整理して概要を捉え適切なタイトルを選択する問題の正答率は約25%と低く、課題が見られた。実際のコミュニケーション場面を意識した「読むこと」の言語活動の充実を図ることが求められる。
- 5 問題5の「読むこと」に関する問題では、中学生の交換留学先のタイで体験したことについての発表原稿をを読んで、本文の概要や登場人物の心情などを理解する力をみた。出来事の順番を答える問題の正答率は約70%、登場人物の心情を答える問題の正答率は約65%と高かった。しかし、事実に基づき、言葉に込められた意味を日本語や英語で説明する問題では正答率がいずれも約20%と低かった。普段の授業において、様々な発問をとおし、深い理解を促したり、読み取った内容やそれについての自分の考えを英語で表現したりする活動が求められる。